

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 信文



■ 公用車パンク事件

日の出一丁目にある市役所本庁舎の食堂の奥一帯に、多数の公用車を格納する屋根付きの広い駐車場があります。この駐車場で昨年9月(1度目)から、何台もの公用車が被害を受ける公用車パンク事件が続いています。

今年になって、3月(2度目)と7月(3度目)、2度の被害を受けました。いずれもタイヤに何かを突き刺されて約30台がパンクさせられ、3度目は、パンクに加えて何台ものワイパーが捻じ曲げられていました。



公用車は、大切な市民の財産です。

1度目も2度目も、その都度警察に被害届を出して捜査をお願いしていましたが、これらを^{あざ}嘲笑うかのような今回の事件に、このまま放置できない焦りと怒りを感じました。単なる「住居侵入・器物損壊」の罪を越えた、市政への無法な挑戦であるような気がします。

どうか市民のみなさんも、どんなことでも結構ですから、警察にご一報いただくなど、捜査へのご協力をよろしくお願いします。

■ 小野田工業高等学校

先日、職場で「小野田工業高等学校の統廃合の記事が新聞に出ていた」ことを知りました。同校は県立ですから、県が数十億円もの事業費をかけて数年前に新校舎を完成させたばかりなのに、近く廃校の対象になるとは考えられないとは思いましたが、少子化が急速に進行する時代のこと、確認するに越したことはないと考え、さっそく県教育委員会に照会したところ、次のような事実が判明しました。

望ましい学校規模は1学年4学級から8学級。10年先を基準とし、3学年の全学年において「1学年4学級以上」の要件を満たすこと。この要件に欠けると、統廃合の対象(廃校)となる。

10年先の本市の発展の状況とも関係しますが、改めて「まちの発展(地方創生)」の基準の一つが県教育委員会から示されたように思いました。

ともにがんばりましょう。

